

科目	数学研究	学年	第3学年	開講	通年	必修	3単位
----	------	----	------	----	----	----	-----

学習目標	・微分・積分、空間ベクトル、数列について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。
------	--

教科書：「改訂版 新編 数学Ⅱ」「改訂版 新編 数学B」数研出版
副教材：「改訂版 3TRIAL 数学Ⅱ+B」数研出版

学習計画及び評価方法

- a 知識技能
- b 思考・判断・表現
- c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	目安	学習のねらい	月	考查	評価の観点		
								a	b	c
前期	数列	いろいろな数列	和の記号 Σ	4	・簡単な数列とその和及び漸化式と数学的帰納法について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	4	中間	○	○	
			階差数列	3				○	○	○
			いろいろな数列の和						○	○
	漸化式と数学的帰納法	漸化式		5		○		○	○	
		数学的帰納法				○		○	○	
		前期 授業評価								
微分法と積分	微分係数と導関数	微分係数		・微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	6	7	期末	○		
		導関数とその計算						○	○	
		接線の方程式						○	○	
		関数の増減と極大・極小						○	○	
関数の値の変化	関数の増減・グラフの応用		○	○	○					
	後期 授業評価									
後期	微分法と積分法	積分法	不定積分		・ベクトルの基本的な概念について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	9	中間	○	○	
			定積分					○	○	
			定積分と面積					○	○	○
	空間のベクトル	空間のベクトル	空間の点			11		○		
			空間のベクトル					○		
			ベクトルの成分					○	○	
			ベクトルの内積				○	○		
			ベクトルの図形への応用				○	○		
座標空間における図形		○	○	○						
後期 授業評価										

評価の観点

・数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしているかどうか。 ・事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題を解決できるかどうか。

評定の決め方

○知識・技能：定期考查 ○思考・判断・表現：定期考查・レポート ○主体的に学習に取り組む態度：ワークショップ型授業・レポート
--